

令和5年度 今治西部丘陵公園 指定管理者モニタリング結果

施設名	今治西部丘陵公園（しまなみアースランド）
所在地	愛媛県今治市高地町2丁目乙429-1
指定管理者	<p>名 称 株式会社今治. 夢スポーツ</p> <p>代表者 岡田武史</p> <p>住 所 愛媛県今治市高橋ふれあいの丘1-3 今治里山スタジアム</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>今治市 建設部都市政策局 公園緑地課</p> <p>TEL : 0898-36-1563</p> <p>E-mail : kouen@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	基本方針に基づいた活動を常に意識しており、おおむね計画に沿った管理運営を行うことができました。	A	管理運営の基本方針や企業理念に関し新規採用職員も含め全職員が理解する時間を設け、改めて各事業の目標や判断基準が明確化された。関係法規や仕様書、施設の設置目的をよく理解し、管理運営を適切に実行している。引き続き、環境教育プログラムや幼児環境教育プログラム「morocco」、自主事業等への参加者や施設利用者に対して、これらを周知し、各事業に取り組んでいただきたい。
利用状況	B	新型コロナウイルスによる利用制限の緩和の動きにより大幅に利用者数が増加した前年度とほぼ横ばいとなり、新型コロナウイルス前の水準に戻ってきたと考えています。計画を下回る項目もあるものの、今治市外の環境教育プログラム体験者が対前年度・計画より大幅に増加させることができました。来年度も丁寧な案内を心がけ予約受注数をのばしたいと思います。	B	学習棟利用者数を除く、年間の入園者数・環境教育プログラム利用者数・公園使用者数・幼児環境教育プログラム利用者数・自主事業イベント参加者数は前年度と比較して減少したものの、年間の入園者数・学習棟利用者数・幼児環境教育プログラム・自主事業イベント参加者数は当初の計画を達成した。今後は、プログラムや施設の利用促進とともに、大型イベントや屋外イベントの開催を計画的に行い、利用者数を伸ばしていただきたい。
事業収支	A	年度途中での計画変更等があり、項目によっては予算との差額が大きいものもありましたが、他の項目で調整するなどして都度修正して管理することができました。外部への委託業務についても検討し、来年度も計画的な支出管理と園内管理を行うよう心がけたいと思います。	B	収支の会計処理については、会社と指定管理業務は独立して会計処理が行われており、予算が適切に執行されている。自主事業収入が大幅に減少したが、適切に反映はされている。事業収支で利益が出た分を、施設等の修繕費に充てることにより、施設の充実が図られた。今後、植栽管理を含めた園内管理を計画的に行うとともに施設の修繕計画を適切に立案することにより、適切な執行に取り組んでいただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	A	<p>退職等によりインストラクターの減員もありましたが、新たなインストラクター資格取得者もありプログラム受け入れ態勢を維持することができました。来年度は新たな研修も導入し、さらにインストラクターとしての技術を高めます。</p>	B	<p>環境教育インストラクターの資格取得や甲種防火管理新規講習の受講（防火管理者のための資格取得）により、必要な資格者や研修受講者の適切な配置ができた。また、インストラクター養成に向けてのトレーニング、外部研修参加後のフィードバックの時間を設け、組織内での情報共有や意識統一を行っている点は評価できる。</p> <p>引き続き、常勤職員だけでなく臨時職員への組織内研修や勉強会などを充実させ人材育成を図り更なるレベルアップに努めて欲しい。</p> <p>管理運営体制としては、令和2年9月28日に提出があった指定管理者の指定申請書（令和3年度～令和7年度）に記載されている正規職員1名、非正規職員4名（5名全員1日8時間勤務）による当初の勤務ローテーションを維持すべきである。</p>
管理運営業務	A	<p>業務委託先との連携を図りつつ管理業務を行えるよう対応しました。</p> <p>ボランティア団体や自主事業の一環として一般利用者にもご協力を頂き園内に季節ごとの多様な花が咲き利用者が楽しめると共に、この公園に愛着を持っていただけるよう努力しました。</p>	B	<p>仕様書に基づいた円滑な管理運営業務ができています。また、スタッフによる巡回数を増やし日常点検を強化したことにより、不具合の早期発見・早期修繕を行うことができました。</p> <p>AED管理業務においては、今年度AEDを移動用としてもう1台設置し、積極的に取り組むことができた。</p> <p>今後も、利用者のニーズの把握に努めるとともに、苦情や要望には迅速・適切に対応し、管理運営業務の改善を図っていただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用業務	A	<p>計画未達の項目もあったものの、新たな広報活動や自主事業イベントの強化など、特に力を入れた箇所での目標は計画以上の成果を残すことができました。準備段階であったものは来年度に活かしてさらなる利用業務実績の向上につなげたいと思います。</p>	B	<p>学習棟利用者数を除く、年間の入園者数・環境教育プログラム利用者数・公園利用者数・幼児環境教育プログラム利用者数・自主事業イベント参加者数は前年度と比較して減少したものの、年間の入園者数・学習棟利用者数・幼児環境教育プログラム・自主事業イベント参加者数は当初の計画を達成した。今後は、プログラムや施設の利用促進とともに、大型イベントや屋外イベントの開催を計画的に行い、利用者数を伸ばしていただきたい。</p> <p>また、自主事業による情報発信、SNS・ホームページの充実等を図り、来園者を増やす取組を行っていただきたい。</p> <p>令和5年度は新たに岡山理科大学と連携したイベントを行うことができた。今後、その他の地域団体との連携業務も検討していただきたい。</p>
その他業務	A	<p>開館日及び利用時間については条例で定められた通りに管理運営し、夜間利用の希望にも対応できるよう臨機応変にシフト対応致しました。</p> <p>学習棟内、園内巡回清掃に努め、利用者が気持ちよく使える公園を目指しました。</p>	B	<p>その他業務は、適正に業務が遂行されている。事故防止や発生時のマニュアルをプログラムごとに作成し、安全の向上に努めている。</p> <p>緊急時だけでなく、夜間利用へ確実に対応できる体制づくりに取り組むことができた。また、個人情報の取り扱いについては、必要な職員等の研修を実施することができた。</p>
修繕業務	A	<p>既存備品の点検・修理を中心に行いました。また、来園者へ影響が及ぶ箇所については早急に修繕を進めるよう努め、施設や備品の維持管理を行うことができました。</p>	B	<p>計画的な修繕の他、応急的・突発的な修繕についても適切に対処できている。今後も利用者の安全を最優先に考え、関係団体と協議・検討を十分行った上で、優先順位をつけて修繕を行っていただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
備品管理業務	A	<p>自主事業充実と広報活動強化のための備品、防犯の強化を目的とした備品を中心に購入しました。来年度はこれらを活用して活動を行っていきます。</p>	B	<p>備品は必要に応じ適切に購入し管理できている。今後は、購入予定時期等を十分検討するとともに、市と必要な協議を行った後、計画的な購入を行っていただきたい。</p>
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	<p>自動販売機を設置しています。イベント時や気候が良い時期で来園者数が増加する可能性がある際には、管理会社に事前に連絡を入れ、商品を切らさないようにしました。計画額には至りませんでした。新たに設置した氷菓用ゴミ箱を継続し今後も販売促進になるよう努めます。</p>	A	<p>適正な対応が行われている。</p>
自主事業	A	<p>大型イベントの頻繁な実施は難しかったものの、季節を感じられるイベントを中心に新たなイベントの実施や既存イベントの強化などにより多くの方に参加していただき楽しんでいただくことができました。</p>	A	<p>公園設立の趣旨に沿った多岐にわたる自主事業を行っており、利用者からも好評を得ている。アースマルシェは愛媛キッチンカー協会と連携した継続事業だが、公園の活性化に寄与した。moroccoインストラクター講習会は幼稚園等の先生を対象にした新規事業だが、環境教育を実施できる人材の育成に貢献した。今後も引き続き、多種多様な自主事業を積極的に行っていただきたい。</p>
地域団体との連携	A	<p>新たに岡山理科大学と連携してイベントを行うことができました。今後も連携の計画も検討しているため、継続的に実施していこうと思います。</p>	B	<p>地域団体と良好な関係を保ち、連携して事業を行えている。今後は、更に新たな団体との関係を構築し、情報交換や地域交流を深めていくことを期待したい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用者アンケート	B	アンケートの収集方法を工夫し、様々な層の方から回答していただくことができました。アンケート内容を適宜見直し、いろいろな意見を参考に常により良い公園にしていけるよう努めていきたいと思えます。	B	アンケートへの回答者数は250人の計画に対し304人と前年度よりも若干減少した。利用者の意見や要望を公園の管理運営に反映させることに寄与した。アンケート結果は、公園全体への満足度に対して満足であるとの回答が多数を占めている。
事故・苦情	A	ふわふわドームの使用についての情報提供が目立ちました。例年一定数の同案件はありますが、巡回の強化等で大きな事故には至っていないため今後も継続して改善に努めます。	B	利用者からの苦情は組織内で情報共有し、適切に対応している。引き続き、安全・安心して利用できる施設となるよう、スタッフによる巡回を強化し、苦情が少ない体制作りと、事故の未然防止に努めていただきたい。事故が発生した場合は、所定の手順に従って速やかに救急対応や市への報告に努めていただきたい。
指定管理者の経営状態	/		適正である。	

総合コメント(市)

指定管理者は、今治市公園条例及び施行規則並びに業務仕様書に基づき、施設の特徴を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務の履行が適切に実施されていると認められる。

学習棟利用者数を除く、年間の入園者数・環境教育プログラム利用者数・公園利用者数・幼児環境教育プログラム利用者数・自主事業イベント参加者数は前年度と比較して減少したものの、年間の入園者数・学習棟利用者数・幼児環境教育プログラム・自主事業イベント参加者数は当初の計画を達成した。今後は、プログラムや施設の利用促進とともに、大型イベントや屋外イベントの開催を計画的に行い、利用者数を伸ばしていただきたい。また、自主事業による情報発信、SNS・ホームページの充実等を図り、来園者を増やす取組を行っていただきたい。

令和5年度は新たに岡山理科大学と連携したイベントを行うことができた。今後、その他の地域団体との連携業務も検討していただきたい。

アースマルシェは愛媛キッチンカー協会と連携した継続事業だが、公園の活性化に寄与した。moroccoインストラクター講習会は幼稚園等の先生を対象にした新規事業だが、環境教育を実施できる人材の育成に貢献した。今後も引き続き、多種多様な自主事業を積極的に行っていただきたい。

最後に、地域団体やボランティア団体等との連携を大切に、協働して公園管理ができるような運営を希望する。